

# 彩が丘社協だより



第35号

発行:彩が丘学区社会福祉協議会

発行日:令和3年9月25日

## 「敬老の日」

いつまでも お元気で!

今年の「敬老の日」は9月20日の第三月曜日でした。

従来、彩が丘学区社会福祉協議会は、「敬老の日」に因



んで、ご高齢の方(対象は75歳以上)をご招待し「多年にわたり社会に尽くしてこられたことに敬愛を示し長寿を祝う」の趣旨で式典を行ってきました。

今年はコロナ禍等の諸般の事情で「見守り活動」を兼ねて、各家庭に記念品(マスク、消毒液等のコロナ感染防止グッズ)をお持ちし祝意を表しました。

今年の対象者は349名で昨年より12名多くなりました。高齢化の波がこの団地にも忍び寄っているようです。更に、当分はコロナとの共存(ウィズコロナ)の時代が継続すると懸念されます。お互いに知恵を出し合って、この難局を乗り越えて行かなければなりません。

このような状況を踏まえ、来年以降は

「式典形式」は取り止め、「記念品進呈形式」

を取らせてもらうことにします。

最後になりましたが、ご高齢の皆さん、いつまでも健やかで充実した日々をお過ごしください。

記念品の「コロナ感染防止グッズ」



## 21世紀の「二十世紀梨」

秋の佇まいを感じる朝夕です。

秋と言えば「食欲の秋」。秋刀魚、栗、梨  
新米、それから高価な松茸等々、美味しい  
食べ物が店頭に並び始めました。



先日、嬉しいことに、梨が二箇所から届きました。ひとつは、長崎に住まいする友人から赤梨系の「豊水梨」。いまひとつは、鳥取の教え子から青梨系の「二十世紀梨」でした。早速、2種類を美味しく食させてもらいました。  
さて、21世紀の現在、未だ「二十世紀梨」がブランド名で通用している訳を最近伝え聞き、驚いています。

19世紀末、原産地の千葉県松戸では、ゴミ扱いされていながら、「20世紀にはきっと代表品種になる」との強い思いからその名が付けられました。

その後、苗木が鳥取に移され、長年の苦労が報われ、見事にその期待に応えた故に、今でも「二十世紀梨」と呼ばれているようです。

因みに、原産地の千葉県松戸市には「二十世紀が丘 梨元町」という町名が存在していますよ。 (K.F)

### 心を込めて

記念品の選定から、箱詰め、包装まで、対象の皆さまの笑顔を思い浮かべながら、役員一同で行いました。

記念品とともに、皆さまへの感謝の気持ちをお届けできますように。

(彩が丘学区社会福祉協議会役員一同)

